

令和5年度 福丸学園評価報告書

令和6年4月12日
学校法人福丸学園
認定こども園武岡幼稚園
武岡みらいえこども園

1 本園の教育目標

- ・ 健康で元気な子ども
- ・ 相手のことを考え、友だちとなかよく遊べる子ども
- ・ よく見たり考えたりして、意欲的に創造する子ども
- ・ 自分で考え、行動できる子ども
- ・ 明るく素直で、情操豊かな子ども

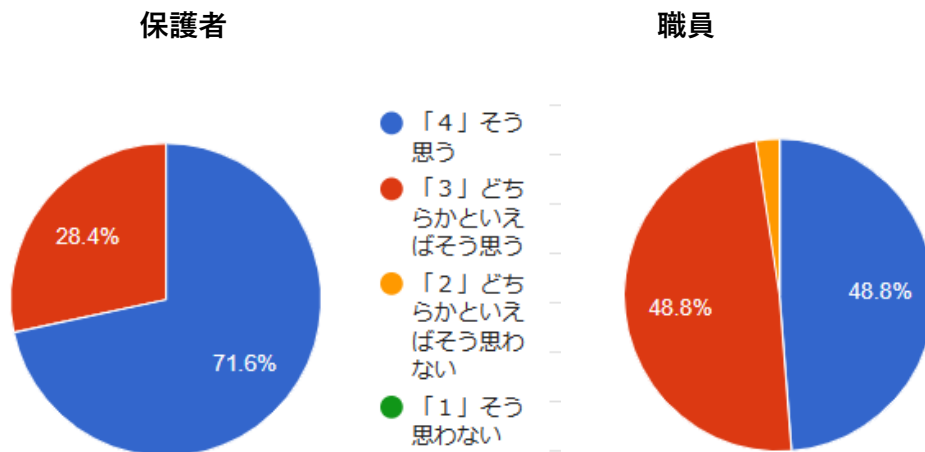
2 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂を踏まえ、一人一人の幼児を大切にしたい子ども主体の保育・教育の実践を目指す。

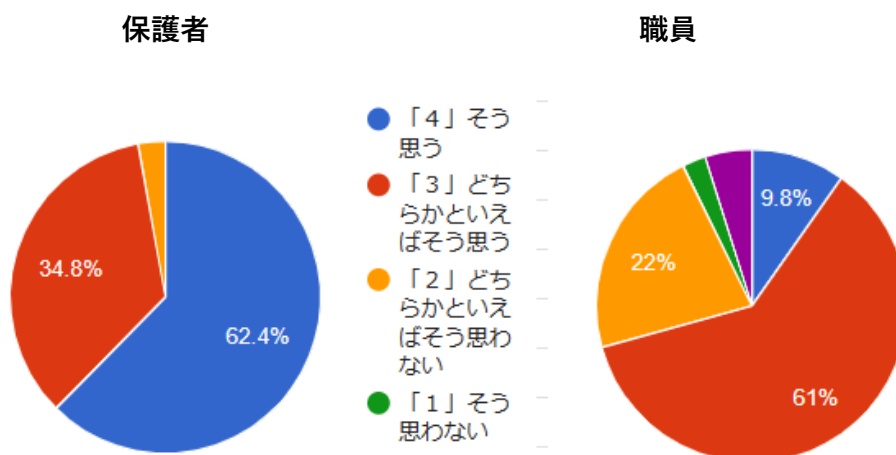
3 評価項目の達成及び取り組み状況

自己評価アンケート結果より 保護者回答数（141）職員回答数（41）

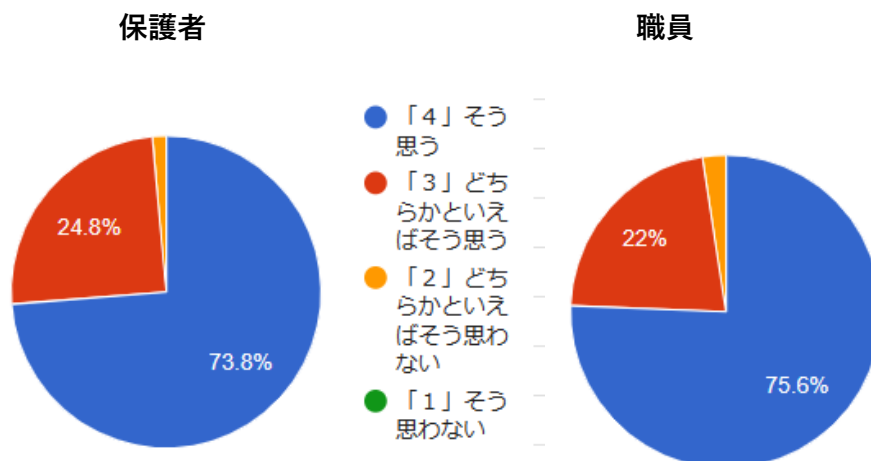
Q1 園は、一人ひとりの子どもを大切にしたい指導や対応ができていると思いますか。



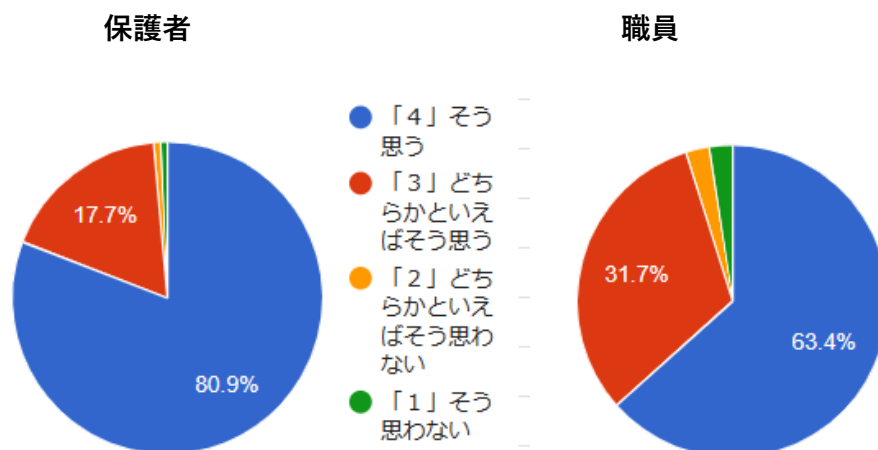
Q2 子どもの発達や意欲を促すような遊具・玩具が十分に用意されていると思いますか。



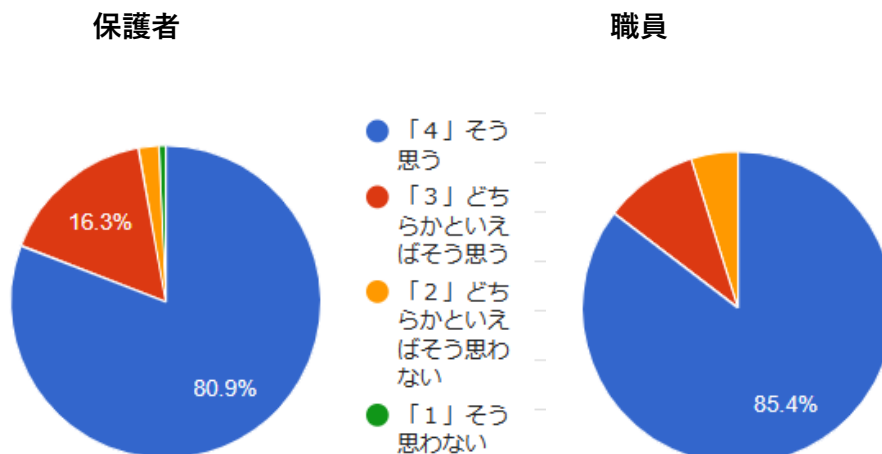
Q3 子どもの体調について、常に気配りがされていると思いますか。



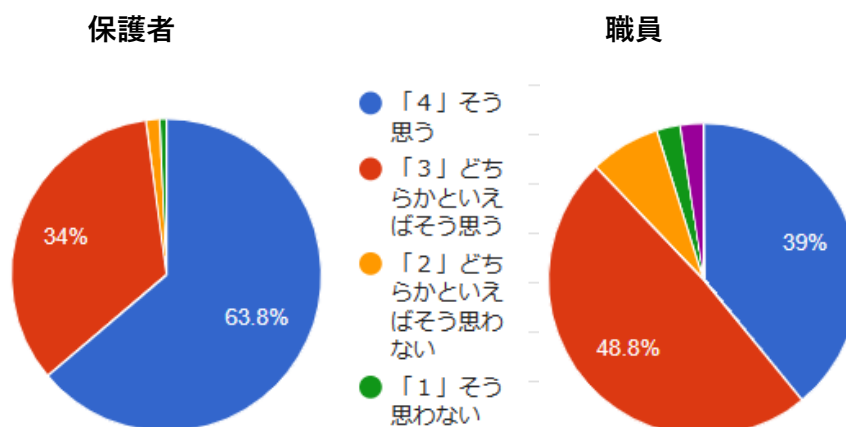
Q4 子どもたちは給食を楽しんでいると思いますか。



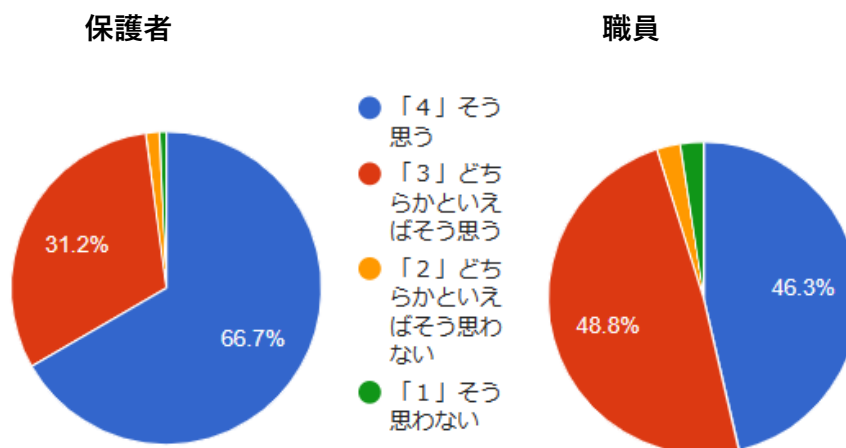
Q5 献立表やサンプル写真表示（インスタグラム）などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていませんか。



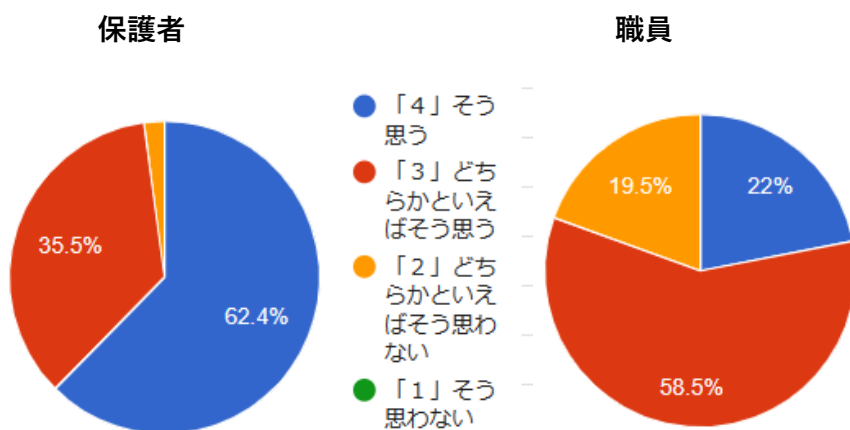
Q6 園は、支援を必要とする子どもの保育・教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



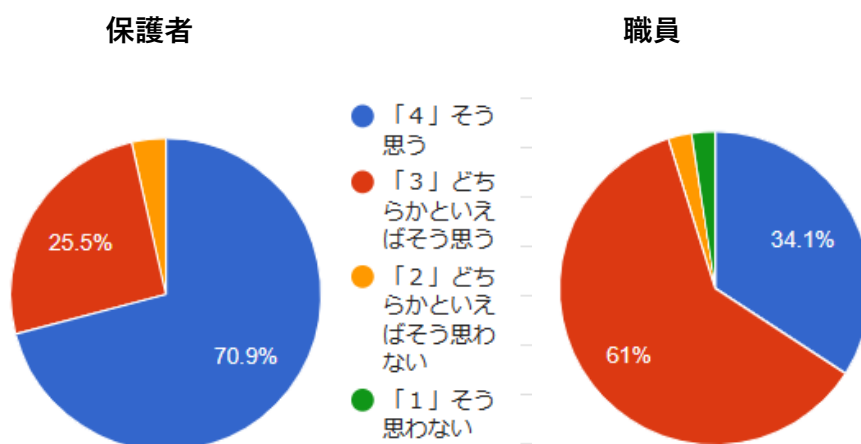
Q7 園の安全管理（事故・感染症の発生時の対応など）は十分だと思いませんか。



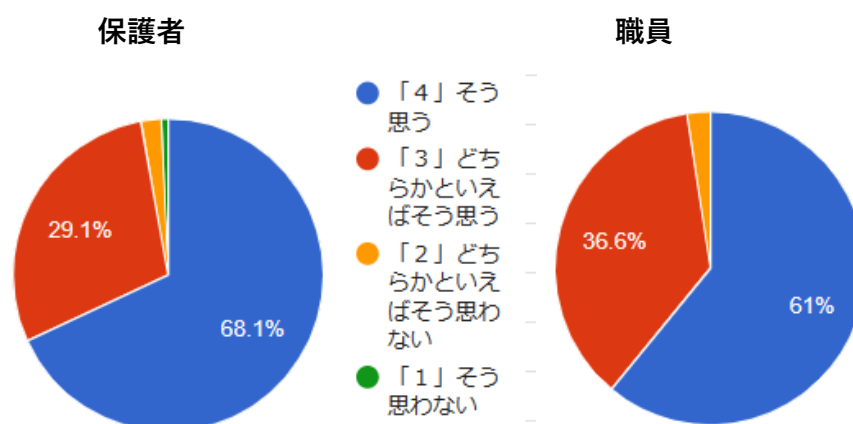
Q8 園の施設・設備は安全でよく整備・管理されていると思いますか。



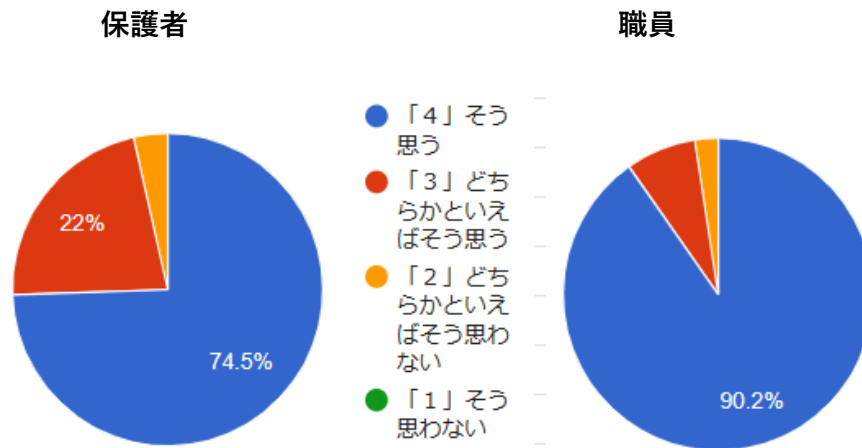
Q9 園は、家庭に園の保育・教育方針や目標を分かりやすく示していると思いますか。



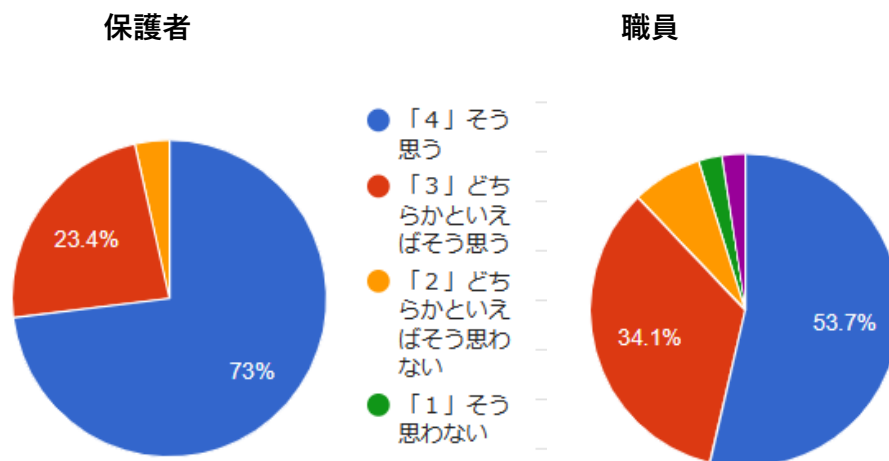
Q10 職員は、保護者とよく連携をとって保育・教育活動を進めていると思いますか。



Q11 園の様子を、積極的に保護者に発信していますか。
 (園日より、ドキュメンテーション、動画配信等)



Q12 保護者の方が子育てに関する気がかりな点や悩みなどについて、気軽に園へ相談できていると思いますか。



	評価項目	質問 番号	評価	考 察
1	確かな育ちを育む保育・教育の推進について	Q1	B	子ども一人一人を大切にしていることを保護者が理解していることが伺える。子ども主体の保育・教育について心がけている成果であると思われる。
		Q2		
		Q3		
2	健康・食について	Q4	A	保護者の8割以上が給食について評価している。「食」については栄養士と連携した継続的な実践の成果と思われる。
		Q5		
3	支援の推進について	Q6	B	保育者として、もっと支援ができないかという思いが感じられる。これからますます支援の強化が必要である。
4	身近な安全対策の推進について	Q7	B	施設・設備の安全管理について、不十分だと感じている職員が多い。計画的・継続的に整備・管理を行っていきたい。
		Q8		
5	家庭との連携について	Q9	A	園の方針や子どもたちの日常について、クラスごとのドキュメンテーションや動画配信を通して理解が浸透していったと思われる。保護者が気軽に相談できる環境づくりにさらに取り組んでいきたい。
		Q10		
		Q11		
		Q12		

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理 由
B	5つの評価項目について重点的に取り組んだ。取り組むべき課題を全職員が理解し、一人一人の幼児を大切に子ども主体の保育・教育を実践することができた。また、保護者・職員へのアンケートを通して、本園としての課題も明らかになり、今後のさらなる質の向上に努めたい。

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	園の施設設備に関して、避難訓練等を通して実際場面でしっかり機能するか検証し改善を図る。
2	特別支援教育	担任と特別支援担当職員が連携を密にしながら個別の支援計画を作成するとともに、関係機関と連携しながら対応していく。
3	研 修	子ども主体の保育・教育の充実に向けて、計画的に外部アドバイザーの助言を取り入れながら研修を深め実践に結び付けていく。

6 学校関係者の評価

子どもたちが元気に楽しそうに過ごしている姿がまず目につく。保育者が子どもたち一人一人にしっかりと寄り添っていると感じられる。保護者との日々の関りを通して、保護者の願いや要望を把握しながら保育を行っている。今後も、子どもたちの実態に応じた適切な保育を継続してもらいたい。